

# 第12回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

開催日時：平成26年8月29日(金) 13:30～15:30

開催場所：長野国道事務所 会議室

## <議事次第>

- 1 開催あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 議 事

### (1) 主要渋滞箇所について

- ・これまでの検討経緯と前回指摘事項
- ・渋滞対策の進捗及び効果
- ・最新の交通状況による分析
- ・優先対策箇所の考え方(案)
- ・道路を「賢く使う」取組事例
- ・今後の予定

### (2) 長野県事故ゼロプランについて

- ・長野県内の最新の交通事故状況
- ・事故ゼロプラン
- ・重大事故緊急対応事例
- ・通学路点検対策事例
- ・交通安全啓蒙活動事例



(委員会の様子)

## <議事>

- =説明・意見・質問・要望
- =回答

### (1) 主要渋滞箇所について

#### 【決定事項】

- ・優先対策箇所の選定方法に関する、課題の大きさの選定基準、事故ゼロプランと整合することは了承いただいた。
- ・パブコメ追加箇所の意見内容等を確認し、優先対策箇所の考え方を再検討することを確認した。なお、考え方の再検討では、優先対策箇所、経過観察箇所以外の箇所も設定し、検討を継続していくことがわかるフローとすることを確認した。
- ・今後は、再検討した優先対策箇所の考え方は、委員の方々に送付し、ご確認、ご了承を頂いた上で、優先対策箇所の選定作業を行うことを確認した。
- ・次回の委員会は年度内に開催することを確認した。

### (2) 長野県事故ゼロプランについて

#### 【決定事項】

- ・なし。

## 【討議内容】

- CO2バンク推進機構** ■ パブコメ追加箇所以外は定量的に判断しているが、地域の方々が渋滞を実感しているパブコメ追加箇所の傾向はどのようなものか。
- 事務局** ▶ 平日の朝夕の通勤時間帯(ピーク時)に速度低下が見られ、渋滞しているところが多い。
- CO2バンク推進機構** ■ 優先対策箇所のフローにおいて、事故ゼロプランとの重複、渋滞状況から優先順位が高いことは当然であるが、地域ニーズでも優先順位が高いので、次回にパブコメ追加箇所の意見・傾向の整理があると判断しやすいと思う。
- 事務局** ▶ 貴重な意見として、参考にして検討する。
- 委員長** ■ 定量的に選定している主要渋滞箇所は渋滞対策の進捗状況が良いが、パブコメ追加箇所では、ほとんど渋滞対策検討中であり、優先対策箇所を決めても進捗しないのではないか。
- 事務局** ▶ 指標で見えるところは説明しやすいため、進捗していると思われる。地域の方々の意見も重要であり、地域ニーズの考え方については検討する。
- 委員長** ■ パブコメ追加箇所を意見数だけで優先対策箇所することは違和感があり、優先すべき箇所の定義の明確化が必要。
- CO2バンク推進機構** ■ 関連してパブコメ追加検討箇所のうち、少し工夫すれば渋滞が緩和するならば、細やかに対応していくとともに、少し予算を要するものを優先するのが良いのではないか。一度、選定された主要渋滞箇所をお蔵入りはしない方が良くと思う。
- 委員長** ■ 渋滞対策が未実施で優先対策箇所に選定されない箇所を経過観察箇所とするのは違和感がある。以前よりも箇所の分類が粗いと思う。
- CO2バンク推進機構** ■ パブコメ追加箇所については、地域の方々と見ることが可能であれば、何に対して不満なのかがわかり、できる対策もあると思う。経過観察箇所と異なる位置付けにするべきではないか。
- 事務局** ▶ 課題の大きい箇所を選定することが基本的な考えであり、指標で見えにくいものはバランスを考え、また長野県らしい指標の意見を頂ければ、それを踏まえて考え方を整理する。経過観察箇所について、検討を継続していく等の表現を工夫し、フローに反映する。
- 委員長** ■ 経過観察箇所、優先対策箇所以外の箇所を設けて、優先対策箇所に戻れるようなフローとすることで良いか。
- 事務局** ▶ 委員の意見を受けて検討します。
- 委員長** ■ 優先対策箇所の選定方法について、事故ゼロプランとの整合や渋滞状況(課題の大きさ)の選定基準とすることは良いが、地域ニーズの選び方では、自動的にパブコメ追加箇所から選定されやすくなるため、データから選定された箇所の多くが優先対策箇所とならないのではないか。定量的に選定された箇所から絞り込む、更にパブコメ追加箇所から絞り込むイメージで良いか。
- 事務局** ▶ 長野県のイライラ箇所は、従前からデータによる定量的なものと県民の意見を聞きながらのものと2つで実施しているため、地域の意見を聞くことは重要と考えています。最新の交通データから交通状況が把握できるため、パブコメ追加箇所のデータを確認します。

CO2バンク  
推進機構

■ 交通データを使うことは客観的で委員会の流れに合っている。パブコメ追加箇所について、データの集計に時間を要するならば、現地や意見の内容を確認することも判断材料になると思う。

事務局

▶ 主要渋滞箇所のカルテを作成しているので、再度確認します。

長野県  
建設部

■ パブコメ追加箇所を含め主要渋滞対策箇所は、対策を考慮しており、経過観察箇所となっても何も対策をしないわけではない。優先対策箇所の定義について、ご意見を受けて調整が必要。

委員長

■ フローをもう少しわかりやすくし、課題の大きさの選定基準は明確なため、地域ニーズの指標について議論が必要。

CO2バンク  
推進機構

■ 交通量の重みづけ、渋滞損失時間で評価する方が良いのではないかと。

委員長

■ 当初は渋滞損失時間の上位を選定した経緯がある。

事務局

▶ 渋滞損失時間を算出することは可能ですが、交通量を加味すると地方部が抽出されにくい。パブコメ追加箇所も最新の交通データにより、速度の指標を算出しているため、課題の大きさに該当する箇所を抽出可能と考えています。また、地域活性化・戦略などで自治体から道路管理者に意見があった箇所は、地域ニーズにより抽出することを考えているが、様々な方法が考えられるので、ご提案頂いたものを含めて検討します。

委員長

■ 意見の多い箇所を選ぶとなれば、組織票が影響すると思う。

CO2バンク  
推進機構

■ パブコメ追加箇所は、対策実施中や対策予定であれば、対象外としても良いと思うが、地域戦略やまちづくりと渋滞を混同すると優先の主旨が異なる。現実の渋滞発生に対することが重要であり、地域戦略やまちづくりの観点を追加意見として扱うべきか否かを検討する必要がある。

事務局

▶ 意見数だけではなく、各道路管理者が現地を確認することを想定しています。基準だけでは選定されない箇所も選定される仕組みも必要と考えますが、頂いたご意見も含めて、優先対策箇所の箇所数も検証しつつ、後でご相談させて頂きたい。委員、各道路管理者と個別に調整させて頂き、次回の委員会に向けて作業をさせて頂きたい。

委員長

■ 優先対策箇所の考え方(案)について、修正したものを各委員に見て頂き、さらに意見を頂き、了承されればその考え方で進めていくこととする。

CO2バンク  
推進機構

■ 第13回委員会にある選定案の意味合いによるが、一度、検討した結果を案とし、次に決定にするものだと思う。案の決定度が高いのであれば、次回の委員会までもう一度委員会を行う必要があるのではないかと。

委員長

■ 委員会では優先対策箇所案、対策案を示し承認するよりも、どのように選んだか、優先対策箇所の選定に対する考え方を確認することが重要である。

事務局

▶ 再度、検討した結果を各委員に送付してご意見を頂くこととしていきます。

(以 上)